

表3-2-6 類型別 日本の社会で問題だと思うもの

	合計	まよ家 つつ柄 てや育 しし生 うがに う決	ま生学 うが歴 決にま よつて てし人	いに女 あ性が うが不 こと利 が多	いな貧 人のし の差人 が大豊 か	なな定 いい職 とに信 就用い さてれ い	少い若 なて者 い学が ぶ仕機 事会に がつ	な言若 いで者 なきが 意見 場を少 を発	がろ学 少体校 な験外 いすで るい機 ろ会	少な親 な教が いえ仕 る事こ ととつ が	その他	問題 はない	わか らない
類型計	1,585 100.0	425 26.8	559 35.3	430 27.1	697 44.0	607 38.3	500 31.5	346 21.8	417 26.3	199 12.6	23 1.5	57 3.6	58 3.7
「求職型」無業者	67 100.0	21 31.3	27 40.3	19 28.4	31 46.3	32 47.8	22 32.8	19 28.4	16 23.9	9 13.4	1 1.5	3 4.5	2 3.0
「非求職型」無業者	58 100.0	22 37.9	25 43.1	21 36.2	28 48.3	27 46.6	21 36.2	13 22.4	12 20.7	10 17.2	1 1.7	3 5.2	2 3.4
「非希望型」無業者	32 100.0	9 28.1	8 25.0	5 15.6	11 34.4	9 28.1	5 15.6	2 6.3	8 25.0	1 3.1	1 3.1	4 12.5	5 15.6
正社員・正職員	871 100.0	214 24.6	292 33.5	223 25.6	359 41.2	299 34.3	283 32.5	192 22.0	236 27.1	115 13.2	9 1.0	30 3.4	31 3.6
非正規社員	557 100.0	159 28.5	207 37.2	162 29.1	268 48.1	240 43.1	169 30.3	120 21.5	145 26.0	64 11.5	11 2.0	17 3.1	18 3.2

5 自分自身の現状と将来についての考え方

ここでは、現在の生活の満足度、大人になった自覚の有無、将来の夢、悩みや心配ごと、結婚希望の面から各類型の自分自身の現状と将来についての考え方を見た。

(1) 現在の生活の満足度は「求職型」<「非求職型」<「非希望型」

各類型が現在の生活に満足しているか(青少年Q66)を見ると、「満足」と「どちらかといえば満足」を合計した割合が最も高いのは正社員・正職員(78.0%)であり、次いで非正規社員(65.4%)となっていた。無業者でも「非希望型」では、「満足」と「どちらかといえば満足」の合計が過半数を超えており、有職者よりは低いが、非求職型や求職型よりも現状に対する満足度が高いことがうかがわれた(図3-2-7)。

図3-2-7 類型別 現在の生活の満足度

